華 岡 医 塾 入門録

豊	同四・九・一九	同三・六・ー	同三・三・-	同三・六・二六	同二・一〇・四	同二・九・八	安政二・三・二八	同七・四・朔	同七·四·朔	同六・五・二八	嘉永六・四・一一	同三・五・一三	同二・六・一九	弘化二・四・二八	天保一二·春	同一三・三・二	同二三二〇	文政一〇・六・二四	夢
	田川郡採銅所	小倉	同 右	小倉藩	中津藩	小倉藩	小倉	同郡上野村	田川郡夏吉村	中津藩	宇佐	田川郡下今任村	中津	宇佐郡中津領若林邑	中津	田川郡弓削田	同郡今任村	田川郡下赤村但シ小倉領	
203	(対田	0原	の平田	武田	0大江	0多田	○里見	0村上	○ 藤堂	0大江	水之	原	0大江	0安部	0大江	加来	原	○領和田田	1 2
\$100	改善李文郁	周禎	要定	玄道	忠庵	董叔	文恪	玄俊	文献	久	水之江琢麿	春登	春亭	原泉	達儀	東庵	文篤	秀山	

○印は大阪分塾合水堂、他は紀州の本塾春林軒

華岡医塾門人録を見ると、豊前の国からの華岡医塾に入門した18人のうち、中津藩関係は5人、 その中で大江医家関係は4人を数える。

- 一、 天保十二年(1841)の大江達儀は大江雲澤のこと 鷹匠町大江医家の五代である。
- 二、 弘化二年(1845)の大江春亭は大江博容のこと、京町大江医家の四代、三代春塘の子
- 三、 嘉永六年(1853)の大江久は大江博義のこと、京町大江医家の五代、親子での入門である。
- 四、安政二年(1855)の大江忠庵は今ここで始めて確認された。 蛎瀬の大江本家の二十四代の大江亭範である。



以前、中津市内角木新町にある吉祥寺を訪ねた時、墓石を写真に収めた。今ここで繋がった。 三光庵一道居士 明治五年(1872)没の銘は二十四代大江忠庵亭範と一致した。「医者、儒者 後 耶馬渓跡田・法岸寺に入る」の記録あり。

以上、大江家関係から実にこの時代、4名もの若者が大阪の華岡大阪分塾・合水堂に入塾したことが判明した。